

会社概要

会社の概況(2024年6月30日現在)

社名 星和電機株式会社
SEIWA ELECTRIC MFG. CO., LTD.
本社所在地 京都府城陽市寺田新池36番地
創業 1945年10月1日
資本金 36億48百万円
主な事業内容 情報表示システム 産業用照明機器 道路・トンネル照明機器
照明用LEDモジュール製品 ノイズ対策製品 配線保護機材

取締役および執行役員(2024年6月30日現在)

取締役社長 (代表取締役)	増山 晃章	取締役 執行役員	河合 隆	執行役員	古田 雅也
取締役 常務執行役員	乾 勝典	取締役 執行役員	水本 和治	執行役員	成平 幸弘
取締役 常務執行役員	春山 雅彦	取締役 (監査等委員)	望月 友彦	執行役員	谷口 浩二
取締役 執行役員	寺垣 敬司	取締役 (監査等委員)	益満 清輝※	執行役員	岩見 恵一
取締役 執行役員	竹之内 光彦	取締役 (監査等委員)	千代田 邦夫※	執行役員	長谷部 卓也
取締役 執行役員	小林 浩幸	※社外取締役		執行役員	十倉 充伸
				執行役員	倉本 剛

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会 3月
基準日 定時株主総会 12月31日 期末配当 12月31日 中間配当 6月30日
単元株式数 100株
公告方法 当社のホームページ(<https://www.seiwa.co.jp/>)に掲載します。

ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

お問い合わせ先	証券会社等で株式を保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合(特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受取り方法の変更およびマイナンバーのお届出などのお問い合わせ	お取引の証券会社等になります。	みずほ信託銀行 証券代行部 ホームページ https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
未払配当金、その他当社株式関係書類についてのお問い合わせ	右記みずほ信託銀行までお問い合わせ願います。	電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
株主総会資料の電子提供制度(書面交付請求)についてのお問い合わせ	お取引の証券会社または右記みずほ信託銀行までお問い合わせ願います。	
ご注意		特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。株式の売買にあたっては、証券会社等に口座を開設し、株式の口座振替手続を行っていただく必要があります。
株式等に関するマイナンバーのお届出のお願い	・株式等の税務関係のお手続に関しては、マイナンバーのお届出が必要です。 ・お届出が済んでいない株主さまは、上記お問い合わせ先へマイナンバーのお届出をお願いします。	

ご意見・ご感想をお聞かせください

株主のみなさまの率直なご意見・ご感想をぜひお聞かせください。今後の株主通信制作などの参考にさせていただきます。

株主・投資家情報に関するお問い合わせ
<https://www.seiwa.co.jp/inquiry/ir.html>



ホームページのご案内

当社では、ホームページにて企業情報を随時開示しております。製品情報、新着情報等のほか、株主・投資家情報ページでは、決算短信等を掲載しております。

株主・投資家情報
<https://www.seiwa.co.jp/ir/>



第77期中間 株主通信

2024年1月1日▶2024年6月30日

<https://www.seiwa.co.jp/>



「彩り」第22回城陽市観光協会フォトコンテスト【特選 城陽市長賞】

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

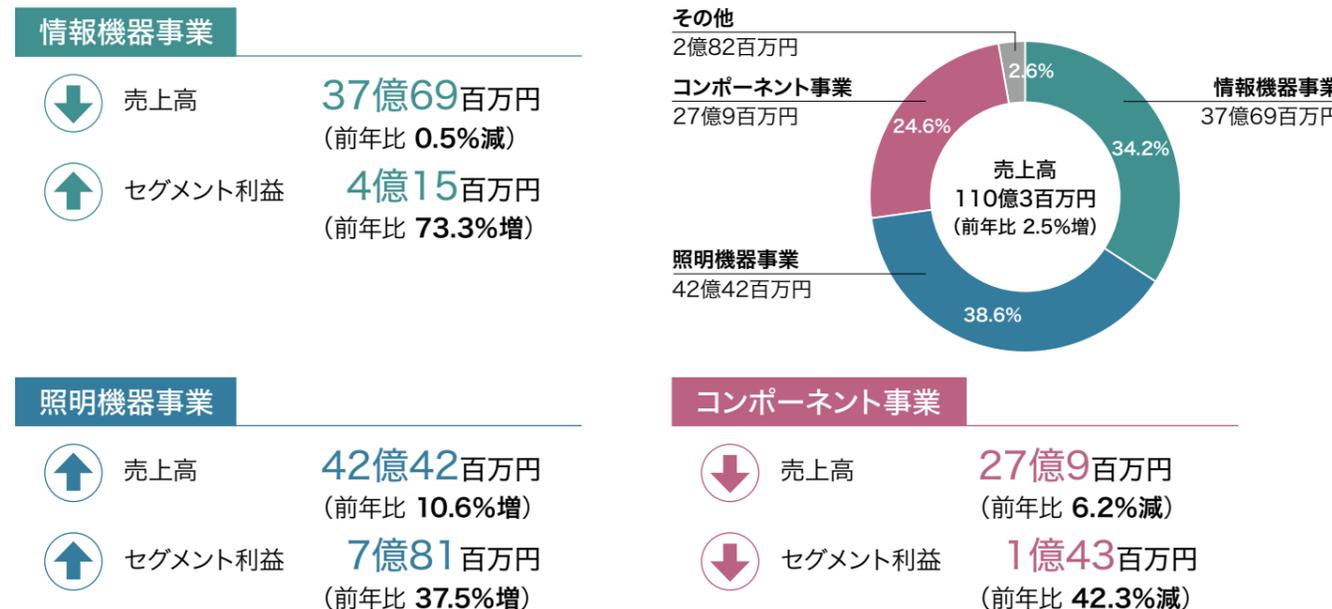
当社グループ第77期中間期(2024年1月1日から2024年6月30日まで)の事業が終了しましたので、その概要をご報告申し上げます。

2024年9月

連結財務ハイライト



事業別の概況



社長インタビュー

「絶え間なく変化を続け、持続可能な組織を実現し、
永続的に社会に貢献することが使命です」

取締役社長

増山晃章

—新中期経営戦略に込めた想いを教えてください—

当期より、新中期経営戦略が始まりました。ただし、新中期といっても毎回大きく変わるわけではなく、マイナーチェンジを繰り返しながら継続していくイメージで位置づけています。

今回の中期経営方針に込めたメッセージは「持続可能な組織の実現」です。

最近、SDGsの認知度が向上し、「持続可能な」という表現が多く使われるようになりましたが、企業にとって最も重要なのは持続性だと考えています。会社は、そこで働く人々や社会に対して永続的に貢献し続けることを使命としています。しかし、同じ製品を100年作り続けて存続する会社はほとんど存在しません。絶え間なく変化を繰り返しながら進化し続け、その結果として300年、400年続いている会社が京都を中心に多く存在しています。

今回、「持続可能な会社」ではなく「持続可能な組織」としたのは、会社は組織の集合体であり、会社を変えるためには組織の中身を変えていく必要があるからです。従業員一人ひとりが組織の一員として強い責任を持ち、常に考えながら組織を変えていってほしいという想いを込めています。

—Seiwa Wayについて教えてください—

Seiwa Wayは2015年に「経営理念」「私たちの働く目的」を実現するために導入された価値観で、従業員の意識改革のベクトルを合わせるために活用しています。

星和電機で働く従業員として共有すべき価値観と、改革・革新を進めることが実務の中で重要であり、そうでなければ進化しないという仕事の仕方を根付かせるために導入しました。

今年で10年目となり、定着も進んできましたので、さらにレベルアップするために、共有すべき価値観の中心に「責任」を追加しました。「責任」を中心に据えたのは、従業員一人ひとりが強い責任を持って改革・革新を進めることが、「持続可能な組織」づくりに必要だからです。



Seiwa Wayの価値観

星和電機の従業員として共有すべき重要な価値観を「挑戦」・「情熱」・「信頼」の3つの思想表現と「責任」を軸として「進化」「プロ」「誇り」「コミュニケーション」の5つの行動表現の言葉でそれぞれ表しています。

新中期経営戦略(2024年～2026年)

❖ 経営方針

環境変化に適応した俊敏な事業活動により、マルチコアカンパニーとして進化し続ける企業を目指す

❖ 中期経営方針

持続可能な組織を実現するためにSeiwa Wayの思想に基づき責任ある行動をする

モノづくり

製販のチームワークにより、高品質、低コスト、短納期を追求し、常に進化し続ける

市場創出

既存領域から未知の領域へ情報感度を高め、新市場を開拓し、新規事業を創出する

技術

コア技術の強化・ノウハウの継承により、新技術・新製品開発を加速させる

—新中期経営戦略の半年間の進捗について教えてください—

この半年間の進捗ですが、モノづくりについては想定通りの進捗です。

市場創出については、既存の市場が中心で、新たな市場開拓に関してはまだ活発ではないと感じています。

技術については、低位置照明など新しいことに挑戦していますが、技術ノウハウの活用には課題があります。継承され蓄積された技術ノウハウがうまく活用されていないと感じる場面があり、ノウハウの効率的な活用によって作業を短縮することで、改善・改革・革新に注力していきたいと考えています。

(業績については、連結財務ハイライト、事業別の概況をご覧ください。)

—女性活躍推進の取り組みについて教えてください—

現在、日本企業全体が直面している課題の一つに、少子高齢化による人手不足が挙げられます。

当社は年齢や性別に関わらず、長く活躍できる「わくわくする楽しい会社、面白い会社」を目指し、技術ノウハウの継承とモチベーションアップの実現を狙いとして、2021年に定年を65歳に引き上げました。また、女性は重要な戦力であると考え、女性の活躍推進に積極的に取り組んでいます。

女性の持続的な就業のために、女性社員が主体となって「星和ママさんクラブ」というものを作り、子育てをはじめ、女性特有の悩みの解決に向けて活動しています。

女性のキャリアアップに関しては、取り組みを行っていますが、残念ながら現在当社には女性管理職や女性役員がいない状況です。

昇進の機会は性別に関係なく平等に提供されており、能力に遜色のない方が多いにも関わらず、昇進をためらう方もおられます。ひとつの原因として、ここ20年ほど女性の管理職がいないため、社内で管理職として活躍するイメージが持ちづらいというロールモデルの不在が挙げられます。候補となる監督職は順調に増加していますので、管理職および監督職の育成のため、女性キャリアアップ研修および女性リーダー育成研修を実施し、ロールモデルとなる女性管理職を育成し、女性の管理・監督者数を増やす取り組みを継続していきます。

女性役員についても、同様に昇進という段階を踏んで、誕生してほしいと考えています。



星和ママさんクラブ交流ランチ会



2024年度 女性活躍リーダー育成研修

—星和大運動会に込めた想いについて教えてください—

昨年は11月に開催しましたが、とても寒かったことと、秋は学校などの行事が多いため、たくさんの従業員に参加してもらいたいという思いから、今年から暖かい5月に毎年開催することになりました。

運動会は、普段の仕事では得られない新しい発見ができる貴重な場だと思います。

新中期経営戦略のところでも述べましたが、会社は組織の集合体です。組織の一番大切なことは、人と人とのつながりであり、つながりを高めるためには、スポーツが一番手取り早いと思っています。走る時も綱引きも全力で、手を抜かないでしよう？一生懸命にみんなで取り組むことで、一気に距離が縮まると感じています。参加したみなさんも同じ気持ちだと思っています。

運動会を恒例行事にしたのは、部門を超えた新しい組織で協力しながらイベントを作り上げていくことが、モノづくりに携わる者として非常に重要だと感じたからです。

従業員とその家族約250名が参加



毎回恒例!社長のオープニングラン

